

## 1 開催主旨

頻発する山地災害や森林・林道被害を受け、地域の社会基盤である森林・山村を守るため、治山事業及び森林整備事業による「緑の国土強靱化」、林道等路網整備の強力な推進、「2050年カーボンニュートラル」を見据えた森林吸収源対策の着実な推進、花粉症対策の加速化等に向けた林野公共事業予算の確保・拡充を実現するため、関係者一丸となった活動・要請を行う。

2 日 時 令和5年11月22日（水） 13時30分～14時30分

3 場 所 海運クラブ 2階ホール

4 出席者 山口俊一会長はじめ、**国会議員 100名**（代理出席含む）

## 5 参加団体

○全国治山林道協会会長会議（主催）

○（一社）全国森林土木建設業協会（共催） ○（一社）日本林業土木連合協会（共催）

○（一社）日本林業協会 ○全国森林組合連合会 ○（一社）日本林業経営者協会

○（一社）日本治山治水協会 ○日本林道協会 ○日本造林協会

○全国水源林造林協議会連合会 ○全国国有林造林生産業連絡協議会

○全国素材生産協同組合連合会 ○各都道府県森林整備・林道・治山関係者等

**総勢約 400名**

6 現 場 ○鹿児島県森林土木協会  
からの声 小牧 隆 会長（九州林業土木協会理事）

○（一社）北海道治山林道協会  
竹中 喜之 会長（むかわ町長、全国治山林道協会会長会議）

7 決 議 ○（一社）北海道治山林道協会  
竹中 喜之 会長（むかわ町長、全国治山林道協会会長会議）

## 8 概 要:

山口会長の挨拶の後、舞立農林水産大臣政務官の祝辞、中谷自民党林政対策委員長からの激励の言葉。高尾全森建副会長、新谷林土連会長から、各地域における激甚な災害への対応や森林整備・治山対策による国土強靱化対策、2050年カーボンニュートラルも見据えた資源の循環利用、花粉症対策に向けた林野公共事業の必要性を訴える要望陳述があった。

続けて、現場の第一線で御尽力されている鹿児島県森林土木協会 小牧会長、（一社）北海道治山林道協会 竹中会長から、現場からの切実な声をいただいた。

竹中会長から、全国治山林道協会会長会議としての決議文が読み上げられた後、採択され、盛会のうちに終了。

# 「治山・林道のつどい」の様子



## ○山口会長挨拶

➤災害が激甚化し、まだまだ対策すべき箇所がある中、国民の安全・安心を守り、あわせて花粉症対策を進めるためには、予算確保が必要。力をあわせて一致団結し、森林整備事業、治山事業の予算を確保していきましょう。



## ○中谷林政対策委員長挨拶

➤山を治めなければ国は治められない。今年も各地で災害が発生したが、私の地元でも人手が足りなくなっている状況。賃上げ、労働環境改善のためにも予算確保が必要。皆様と力をあわせて一致団結し、予算を確保に向けて頑張りましょう。



## ○舞立大臣政務官 激励の言葉

➤自然災害の激甚化・頻発化が加速するなか、森林整備・治山対策による「緑の国土強靱化」の推進が必要。また、災害に強い林道の開設、森林吸収源対策、花粉症対策の着実な実施などに向け、必要な予算の確保に全力で取り組んでまいりたい。



○駆けつけていただいた多くの先生方

○現場から駆けつけた関係団体の方々

# 団体挨拶／現場からの声



## ○高尾 全国森林土木建設業協会副会長

➢「緑の国土強靱化」のために、災害に強い森林づくりを強力に進める必要。地域経済を下支えできるよう林業の持続的発展に貢献するとともに、地域の雇用の受け皿としての役割を担っていきたい。



## ○新谷 日本林業土木連合協会会長

➢被災地の早期復旧はもちろん、災害の未然防止のため、国土強靱化対策や、主伐・間伐・再造林に必要な基幹林道の開設・改良に鋭意取り組んでいく。必要な予算の充実・確保に向け、関係者一同決意を新たにしたい。

## ◆ 鹿児島県森林土木協会 小牧隆会長

【(一社)全国森林土木建設業協会】、【(一社)日本林業土木連合協会】

○九州では台風や線状降水帯により甚大な被害が発生。地域の経済活動再開に向けて、全力で復旧に取り組み、あわせて、国産材の安定供給への貢献に努めてきた。

○しかしながら、資材価格高騰や人手不足など現場の状況は厳しく、林業経営体の減少や森林土木からの撤退が著しい。大変厳しい施工環境の森林土木を支えるため、予算の確保とともに、資材高騰を反映した積算や働き方改革を進めるための適正な労務単価の設定にも取り組んでいきたい。



## ◆ (一社)北海道治山林道協会 竹中喜之会長(むかわ町長)

【全国治山林道協会会長会議】



○今年は胆振東部地震から5年の節目。前例のない山腹崩壊や林道被害からの復旧に取り組んできた。町の8割を占める森林は林業・木材産業の基盤として重要な役割を果たしており、今後も治山対策・森林整備対策が必要。○林道と林業専用道を組み合わせた路網整備や津波に強い保安林整備にも取り組んでいきたい。また、気候変動による豪雨被害が増大する中、流域治水と連携した治山・森林整備に必要な予算を確保していただきたい。

- ・全国治山林道協会会長会議
- ・（一社）全国森林土木建設業協会
- ・（一社）日本林業土木連合協会

## 決議文

森林整備・治山事業は、かつてより荒廃した森林の再生・保全等に取り組み安全で安心して暮らせる社会を支えてきましたが、我が国の国土は、地形が急峻かつ地質がぜい弱であることに加え、前線や台風に伴う豪雨や地震・火山活動等の自然現象が頻発し、毎年大きな山地災害や林道被害が発生しています。

本年も既に豪雨等により全国各地で山地災害や林道被害が発生しています。毎年発生する豪雨災害、さらには切迫する南海トラフ地震等による津波の危険度も高く、大規模災害の発生リスクは依然として高い状態です。

また、国民病ともいわれるスギ花粉症対策として発生源であるスギ人工林の減少やスギ材の利用促進が課題となっています。

このような中で、国民生活や山村地域を脅かす危機的な状況から脱却するには、地域の社会経済基盤である森林をしっかりと整備し守っていくことが不可欠です。

このため、山地の復旧対策はもとより、事前防災・減災対策を進め災害に強い森林づくりによる「緑の国土強靱化」や国産材の安定かつ持続的な供給体制を早急に構築するため、災害に強い強靱な幹線林道の開設・改良をはじめとする路網の整備を通じた森林整備を強力に推進すること、またスギ花粉の発生量を削減するためスギ人工林の伐採・植替えを加速化することなど、林野公共事業予算を大幅に増額するとともに地域の実情に対応した地方債を確保し、これまで以上の治山対策や森林整備対策の推進を強く切望するものであります。

全国治山林道協会会長会議、全国森林土木建設業協会、日本林業土木連合協会は次の項目について強く要請します。

## 1. 緑の国土強靱化への対応

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」による必要・十分な予算を別枠で確実に確保すること。あわせて、追加財政措置等により、山地災害や林道被害の早期復旧や山村経済を回復させる森林整備・治山対策に必要な措置を講ずること。また、「5か年加速化対策」後も中長期的な見通しの下、森林整備・治山対策を計画的かつ着実に推進すること。

## 2. 治山事業及び林道等森林整備事業予算の拡充など

流域治水に対応した治山対策、山地災害からの復旧及び防災・減災対策の実施、並びに森林整備やそのために必要な路網整備の充実等に向けて、林野公共事業を一層強力に推進するため、令和6年度当初予算において予算の拡充を図るとともに地域の実情に対応した地方債を確保すること。また、資材高騰等に対応した予算の増額、工事等の品質確保及び地域の安全・安心の担い手の確保を図るため施工条件に見合った円滑な発注や施工体制の整備を引き続き推進すること。

## 3. 災害に強い林道等の路網整備の強力的な推進

森林資源の循環利用を通じた林業の成長産業化の実現や災害の激甚化への対応に向け、木材生産コスト低減や木材の安定供給等に繋がる幹線林道等の開設・改良や強靱化・長寿命化を図るため、令和6年度当初予算において林道等の路網整備を一層強力に推進すること。

## 4. 森林吸収源対策の推進及び花粉症対策の加速化

グリーン成長を実現し森林吸収源対策を着実に実施するため、また、スギ花粉の発生量を削減するため、令和6年度当初予算において確実な再造林や間伐、スギ人工林の伐採・植替えなどの実施に必要な森林整備事業をはじめとする予算を十分に確保すること。